



県警カラーガード隊の演技に喝采<sup>かささい</sup>  
交通ルールも学んだ二宮小学生

湘南 **にのみや**

# 議会だより

平成25年  
3月定例会  
2/26~3/21

—平成25年度予算決まる—

- ▶町長施政方針に3議員が総括質疑…………… 2~3 P
- ▶予算審議と賛成・反対討論…………… 4~5 P
- ▶議会基本条例・議会で決まったこと…………… 6~7 P
- ▶補正予算・議案・陳情に対する賛否…………… 8~9 P
- ▶一般質問で6議員が登壇…………… 10~13 P
- ▶トピックス・蘇峰堂・議会報告会日程…………… 13~14 P

## 6月定例会のお知らせ

6月7日(金)から開会の予定  
本会議・委員会の傍聴できます—お気軽にどうぞ—

# 平成25年度 町長の 施政方針(概要)

平成25年度を「子育て元年」とし、定住人口の確保へとつなげるため、子育て部門の体制強化を図り、施策を充実させる。

新たな総合計画に示す「4つのまちづくりの方向性」に沿って各種事業に取り組み。

①「生活の質の向上と定住人口の確保」

- ・旧国立小児病院跡地に子育て支援施設を整備するための検討を行う。
- ・児童虐待防止のために専門の相談員を配置し、引き続き子育て練習講座(そだれん)を開催する。
- ・山西小学校トイレ一部を洋式に改修する。

- ・二宮中学校体育館床面の張替え等改修工事を実施する。
- ・「敬老のつどい」は、地域での楽しみ方も増大したので、参加状況も鑑み開催を打ち切る。
- ②「環境と風景が息づくまちづくり」
  - ・吾妻山公園は、小動物園付近の整備とアスレチック遊具を更新する。
  - ・公共下水道の整備促進は越地地区の松浦地下道から釜野方面に向けた山西汚水幹線を整備。
  - ・二宮稲荷谷地区と北新道地区の雨水対策工事を実施する。
  - ・1市2町ごみ処理広域化は(仮称)剪定枝資源化施設の用地を取得し、平成27年度までの継続事業として建設工事に着手する。
  - ・花と緑の演出で北口商店街の活性化を支援する。
- ③「交通環境と防災対策の向上」
  - ・今後2か年で駅周辺の状況を検証し、整備方針となる計画を策定する。
  - ・「二宮町地域公共交通計画」に基づき、平成25年度は10月より「コミュニ

ティバス」のルートや時間を改変、富士見が丘地区等で「デマンドタクシー」を試験的に導入する。

- ・路面表示や防護柵など、通学路の安全対策工事を実施する。
- ・消防力の強化として、1市2町消防救急無線広域化・共同化等に係るデジタル無線整備を推進し、消防第3分団詰所を法務局の隣へ移転する。
- ④「戦略的行政運営」
  - ・公共施設白書に基づき、「都市マスタープラン」を2年かけて策定する。
  - ・土地利用の方針や都市施設の整備方針を定める「都市マスタープラン」を2年かけて策定する。
  - ・公共施設マネジメント計画の策定を進める。
  - ・コンビニ収納の導入準備作業を図り、収納率向上を目指す。
  - ・臨時自転車置場の一部を利用者負担の観点から有料化する。また北口自転車駐車場3階の使用料を引き下げ、利用促進を図る。

## 新年度予算に対して 総括質疑

### 旧国立小児病院跡地の 施設整備は進捗度を早めて

近藤 行宏議員



近藤 国の経済対策で、地域の元氣臨時交付金が創設された。その効果と

影響について伺う。また町債は、償還額より借入金を上回る構造であり、財政の運営方針を示されたい。

#### タイミング良い交付金

町長 元氣臨時交付金が9千500万円以上確保でき当初予算と24年度補



子育て支援、ひいては定住促進につながる施設を(国立小児病院跡地)

正予算を一体とした考えのもと、第三分団詰所整備、二宮小大規模改修事業、せせらぎ公園木道改修工事に充てることができた。町債は、平成30年までの計画通り想定内である。有効な町債確保に努めており、交付金への反映も確実に見込めるものである。

町長 堤防整備は二宮漁港海岸堤防整備計画により国の交付金を活用する。その3年後、背後地整備に着手する予定。

近藤 駅北口整備の方向性について、本格整備に向けての構想は、東大果樹園跡地利用が絡んでいく可能性があるのか否か。

町長 駅北口整備は、25年度に交通量調査を実施し本格整備の計画策定に入る。跡地利用は検討委員会との諮問後、考える。

#### 新たな保育施設も含む

町長 子育て担当部長、子ども育成課を新設する。子育て支援施設整備で小児病院跡地を支援の拠点

## 公共施設配置を適切に 共働き対策を検討せよ

### 根岸ゆき子議員



小児病院跡地を子育て支援施設にする経緯を問う。

#### 子育て需要に応えたい

**町長** 共働き支援は駅のそばがいい、一方、小児病院跡地に保育園との考えもあり建設は民間委託にと考えるが、まだ色々検討したい。跡地活用案は町民の声や百合が丘保育園の老朽化等から浮上した。漁港一体で道の駅にする考えもあったが条件が整わなかった。

**根岸** 北口商店街を花と緑で演出してどのように

#### 白書は次計画へ生かす

**町長** 白書は再配置計画策定の基礎資料となり、施設のあり方を25年度以降に多角的視点で検討する。経営を合理化した売上維持を先にやりたい。

**根岸** マネジメント能力を発揮し施設適正化の準備をしてほしい。また子育て元年を宣言したが働く親への対応、及び国立

消費拡大につなげるのか。

**町長** 「花通り二ノス」としての価値を高める。花のテーマで翌年度以降イベントをし、各店舗の売上拡大につなげるのが最終目標。

**根岸** ふたみ記念館は「赤字にしない」という町長の発言に対し、具体策の考えを問う。

**町長** 最も必要なことは広告宣伝でありファンを増やしたい。5000人の町外のご案内希望者リストもできた。土地・建物や絵の寄付の資産価値は年間経費を上回っている。経費も削減している。黒字化目指し挑戦する。

**根岸** 黒字化とは何か、明瞭な町民説明を望む。



多くのファンを増やして！  
(ふたみ記念館)

## 子育て施策や 公園構想等について問う

### 脇 正文議員



園構想を描いているのか。

**町長** 吾妻山公園のリニューアル整備実施で、広く楽しめる自然豊かな公園となり、魅力の向上につながる。また、ここを拠点とする公園ネットワーク構築で日帰り観光地として町の活性化につなげたい。

**脇** 北口通り商店街活性化構想とは何か。

#### 商業環境を変えていく

**町長** 人を呼び込める商店街にすることが大切。景観形成事業のストーリー

トガーデンにより、商店街の環境が整った上で花で人を呼び、おもてなしをするイベントの開催等を計画している。

**脇** 二宮ブランドの位置づけと、その価値を高める構想について問う。

**町長** 売れるものづくりとして新商品を開発。町のイメージアップを図り、町内外に情報を発信し、人を呼び込むこと。観光開発により外から人を招き観光交流を促進すること。この3つの視点で実践することがブランド構築の道筋と考える。

**脇** 南口駅前の楠木をなぜ伐倒するのか。

**町長** かなりの腐食のため人命第一と考え決断。

**脇** 子育て施策を出産から小学校卒業時までつなげるために子育て担当部長のもと、教育委員会なども加わり対応できる施策は考えているか。

**町長** 子育て全てについて相談できる窓口を設け、そこから教育委員会にも福祉にもつながるようにする。これをPRしながら対応していきたい。

**脇** 敬老のつどいをなぜ打ち切るのか。

**町長** 参加率が18%にとどまっているつどいを継続するより、77歳以上の方に平等に税金を使うこととし、祝い金を贈りたい。

**脇** 町長はどのような公



子育て元年に期待！  
(役場の子ども育成課窓口)

# 平成25年度 予算審査

## “子育て” “定住促進” 施策に期待 「敬老のつどい」打ち切りに異論出る

平成25年度各会計当初予算金額及び本会議採決結果

会計名	予算額	前年度比較	採決結果
一般会計	77億1,000万円	2.6%増	11対1で可決
国民健康保険特別会計	34億7,057万円	0.1%減	11対1で可決
後期高齢者医療特別会計	6億5,662万4千円	1.4%減	11対1で可決
介護保険特別会計	21億2,447万3千円	5.0%増	全会一致で可決
下水道事業特別会計	9億8,988万1千円	11.8%増	全会一致で可決
総額	149億5,154万8千円	2.7%増	



やっと公式試合ができます  
二宮中学校体育館(現地視察にて)

予算審査特別委員会は、7議員で構成され、予算書、予算説明書等をもとに、北口駅前広場、第3分団詰所建設予定地、改修予定の二宮中学校体育館など4か所の現地視察を実施したほか、各課の予算審査を5日間にわたり行った。

予算審査特別委員会の構成は次の通り。

委員長 小笠原陶子  
副委員長 添田孝司  
委員 浅賀一伸  
神保順子  
脇 正文  
近藤行宏  
三橋智子

予算審査の結果は、浅賀委員が一般会計、国保会計、後期高齢者医療会計に反対討論、脇委員が5会計に賛成討論を行った。委員会は審査終了後に要望をまとめた「審査意見(下記参照)」を、本会議で報告した。

本会議最終日では、浅賀一伸、根岸ゆき子、二見泰弘の各議員がそれぞれの立場から討論を行い(5面に討論概要)、上記の採決結果となった。

### 予算審査特別委員会



各課の予算審査を行っていく中で、議員から様々な要望や意見が出される。それら予算審査中に出された要望を「議会議案意見」として特別委員会の委員がまとめ、町側に提出。町側は、これに沿って、努力することになる。

### 審 査 意 見

- 1 公共施設白書を活用し、早期に管理一元化を進め、公共施設の維持更新について抜本的対策を図りたい。
- 2 地域防災計画の行
- 3 児童相談・そだれん事業を町民にアピールし、児童虐待防止に努められたい。
- 4 学校教育では英語教育を町の特徴とし、更なる充実を図られたい。
- 5 6次産業化について、若い世代が参入できるよう生産・加工・販売の一体化を進められたい。
- 6 コンビニ収納導入にあたっては、費用対効果を検証しながら、作業や経費のスリム化を図られたい。
- 7 職員の専門性を高めるための研修参加を促し、必要な費用の予算化を図られたい。
- 8 リフォーム補助事業は耐震化など目的が多様化しているの、目的に優先順位を付けた補助事業とされたい。

## 予算に対する

# 討論

## 反対 浅賀一伸議員 不安定な財政運営の 原因となった東大農場 跡地購入法

そうはなっていない。その背景には、昨年3月議会の補正で、東大農場跡地を基金取り崩しだけで購入した。財政運営の影響が大きいからだ。町は基金を積み戻す約束に追われ、本来福祉に回すべき予算が反映されていないと考える。健全な財政運営で町民の暮らしを守るよう要望する。

国民健康保険特別会計は反対する。資産割の軽減策と徴収率の向上は評価するが、資格証明書の発行数が増えている。好ましく10割負担を選択する方が増えるとは考えられず、国保税が高いことが原因と考える。一般会計からの繰り入れで国保税の引き下げを要望する。後期高齢者医療特別会計は制度そのものに反対。介護保険と下水道事業の特別会計には賛成する。

平成25年度一般会計予算には反対する。現在の日本は労働者の所得が減り続け、デフレ不況を抜け出せない状況。年々生きづらさが増している。こうした時こそ行政は「家計を応援し、負担を軽減すること」が求められる。しかし町民に自己負担を強いたり、「敬老のつどい」も廃止するなど、



地に足のついた財政運営を！

## 賛成

## 根岸ゆき子議員 子育て元年宣言、縦割りを脱する年として期待

は今後町民理解を求める説明をしてほしい。高齢者福祉全体では地域福祉を担う社協の役割など整理が必要と考える。公共施設の将来的全体像を作るためしっかりと進めてほしい。

※訂正とお詫び

3月21日の本会議における根岸議員の討論内容において、誤りがありました。お詫びして訂正します。●敬老のつどい参加者について：誤「3割」↓正「18%」●ラディアン朝市の保健所申請について：誤「申請した」↓正「未申請」

予算編成方針を早い時期に公開し、まちづくり総合調整事業を設置したことは評価できる。横断的事業の総合まとめ役を果たしてほしい。子育て元年宣言は機構改革でバックアップ体制を整え、改めて意気込みを評価。相談窓口の複数化を周知し、安心して子育てできる支援策を宣伝してほしい。インフラ整備でも進んだ点が多い。コミバスとデマンドタクシーの試行運転、剪定枝処理施設工事、北口駅前広場暫定整備、公共下水道幹線整備など町の構造変化をする年となる。課題も残すので、予算を生かすため怠りない検証が必要だ。その他、敬老のつどいの突如の打ち切り宣言



打ち切りとなる「敬老のつどい」

## 賛成

## 二見泰弘議員 財政厳しい中 予算に特徴を出し評価



「どならない」「おこらない」  
すくすく育つ子どもたち！  
(子育てサロンにて)

する。栄通り子育てサロンを隔週で土曜日も開催し、ファミリーサポート事業を継続、障がい児者福祉手当事業の推進など財政の厳しいなか、予算に特徴を出したことは非常に評価する。

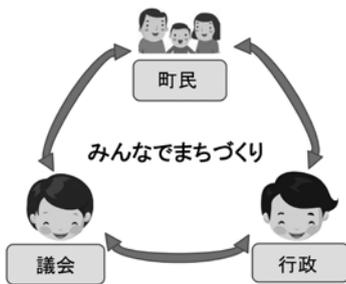
また、シルバー人材センターの支援、生活支援型ホームヘルプサービスや配食サービス、在宅重度障がい者のタクシール利用助成など、高齢者、障がい者、介護保険対象者が地域で生活できる支援は評価する。しかし「敬老のつどい」の廃止は長寿の里の町にしては残念である。定住人口の確保については、なお一層の促進を図ってほしい。年間24万人が来園する吾妻山公園は、町の活性化につながるよう、充実した整備を要望する。

25年度は、新総合計画初めての予算になり、最大の特徴は子育て・定住促進である。「子育て元年」として、子育て部門の体制強化、担当部長の配置、子ども育成課を新設した。旧国立小児病院跡地に保育所機能を備えた子育て支援施設を検討委員会を検討、子ども・子育て施策の状況を把握し、児童虐待防止のため専門の相談員を配置する。子育て練習講座の「そだれん」を引き続き開催

# 「二宮町議会基本条例」

## 全会一致で可決

2年間の研鑽を経て、4月1日から始動!!



議会をより深く理解できるようにルールを作り直した。

議会の中で議員は、より多くの民意を反映した討議を行い、議決をしなければなりません。議決した過程や結果を町民に正確に理解して頂くために、議員間の論点・争点をわかりやすくしたいと考えました。

また、町長や執行機関を監視・評価するためには、議員は常に町の課題を的確に把握して、必要な政策提案を積極的に行う事としました。

町民の負託に真摯に込められる議会運営を目指して、この条例を制定しました。

### いくつか特徴を示します

#### ◎委員会活動(8条)

総務建設経済と教育福祉の2つの常任委員会や議会運営委員会などが、所管の事務を調査・研究し、積極的に政策提案していきます。議会は委員会活動を重視します。

#### ◎自由討議(9条)

議員間で、積極的に議論を尽くして、課題の論点・争点をわかりやすくするよう努力します。

#### ◎会議の原則公開(12条)

正式な会議は公開され、傍聴ができます。議事録も公開します。

#### ◎議会報告会と意見交換会(14条)

年に2回、議員全員が地域に向き、議会報告会を開いて、直接町民と意見交換を行います。

#### ◎一問一答方式(17条)

一般質問は論点をわかりやすくするために一問一答方式にしました。答弁者は反問することができません。

#### ◎危機管理(24条)

災害が起こった時、議員は地域と協力し、住民の安全確保に努めます。議員間で連携を図れる体制を整え、可能な限り速やかに全員協議会を開催します。

#### ◎推進委員会の設置(27条)

この条例の適切な運用のため、議会基本条例推進委員会を設置します。8人のメンバーで議会報告会の運用や様々な議会改革を推進します。

推進委員会の構成  
委員長 西山宗一  
副委員長 神保順子  
委員 小笠原陶子  
浅賀一伸  
添田孝司  
根岸ゆき子

二見泰弘  
池田 宏  
任期は25年12月まで

議会基本条例のもと、議会基本条例の全文は町ホームページ(町議会)からご覧になれます

### 議会提出議案4件 全会一致ですべて可決

議会基本条例の制定や地方自治法の改正にともない条例や規則の一部を改正するもの。

#### 〈議会会議規則の改正〉

一般質問は一問一答方式とし、答弁する者は、議長の許可を得て反問することができる。また公聴会を開くときや参考人の出席は議決で決定する。新たに議会全員協議会を第121条に定め、正式な会議とした。

#### 〈議会政務調査費の交付に関する条例の改正〉

名称を政務活動費とした。経費に充てることができる範囲は従来通りとした。

25年3月1日から施行。

#### 〈議会政務調査費の交付に関する規則の改正〉

名称を政務活動費とし条例改正に伴い、申請様式を改めた。

25年3月1日から施行。

公布の日から施行。ただし議会全員協議会の改正規定は25年4月1日から施行。

#### 〈議会委員会条例の改正〉

委員の選任等に関する

# 議会で決まったこと

## ■権限移譲に伴う条例の制定と一部改正について

(平成25年4月1日施行)

護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

要支援者に対する地域密着型介護予防サービスの人員及び設備や運営委員会に関する基準を条例で定める。

▼都市公園条例の一部を改正する条例

都市公園の設置基準及び高齢者・障がい者の移動等円滑化のために必要な事項について条例に定める。

▼下水道条例の一部を改正する条例

公共下水道の構造の基準(雨水吐及び水処理施設の構造に関する基準を除く)を条例に定める。

▼指定地域密着型サービス等の定める条例

要介護者に対する地域密着型サービス事業の人員及び設備・運営に関する基準を定める。

▼指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介

▼準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

準用河川に係る河川管理等の構造について河川管理上必要とされる技術的基準を定める。

▼道路構造等の基準を定める条例

市町村道の構造の技術的基準及び道路標識の基準、移動等の円滑化を定める。

■条例の制定と廃止(全会一致で可決)

▼新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、この法律に基づき、市町村に対策本部を設置する場合の組織等を定めるもの。

▼廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会設置条例

廃棄物処理施設の整備運営に係る、事業者の選定を公平かつ適正に行うことを目的に、執行機関の付属機関として、諮問又は調査する機関を設置する。

▼減債基金条例を廃止する条例

基金統廃合の一環としてこの基金の全額を町債償還の財源とし、その運用を平成25年度末までとして廃止する。

施行

平成26年4月1日から

■条例の一部を改正する条例(全会一致で可決)

▼自転車駐車場条例

二宮駅北口駐車場の、月極め使用料の改正、及び3か所の臨時駐車場の有料化するもの。

反対討論として、「年少扶養控除廃止や年金削減など家計への負担が増す中、有料化には反対。」賛成討論として、「借

地料・人件費の経費がかかっている。受益者負担の観点から、有料化はやむなし。」

11対1で可決  
7月1日から施行

▼部設置条例

機構改革により契約、検査等に関する事務分掌を総務部から政策部に変えた。

▼総合計画審議会条例

機構改革による組織見直しのため審議会の庶務が政策部企画政策課にて処理できるようにした。

▼長期継続契約に關する条例

公用又は公共用の施設に關わる管理業務を経済的かつ合理的に行うため複数年度にわたり契約を締結できるようにした。

▼特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例

廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員が設置され報酬額が定められた。

(4件は平成25年

4月1日から施行)



借地活用の駐輪場は有料化

▼議会の議員その他

非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例

▼消防団員等公務災害補償条例

条例文の中の「障害者自立支援法」の名称を、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」と変更した。

▼町営駐車場条例

ラディアン裏にある町営駐車場は利用者の利便性向上及び運営効率の向上を図るため駐車料金を一般、団体、定期利用の形態に分けた。また、団体利用料金は後日清算ができるようにした。



〈ラディアン裏駐車場〉

# 補正予算

## 一般会計

歳入歳出それぞれ1億4千713万6千円を増額し、予算総額78億2千351万9千円とした。

歳入として、国からの

公共事業や経済対策で地域の元気臨時交付金の交付、歳出として、せせらぎ公園の木道改修工事、内原跨線橋及び人道橋の改修工事、二宮小学校校舎東棟と中央棟の改修等。主な質疑は次の通り。

問 委託料全般に関し、執行残額は予算の約半額だが、適切なのか。

答 平成23年度から条件付き一般入札を実施した結果であり、公平性・透明性は保たれている。入札は不調もあるため従来通りの査定とした。

問 子どものための手当負担金減の理由は。

答 制度の成り行きが不透明であり、児童見込み



〈内原跨線橋〉  
橋りょう補修工事

数も減るため。

問 橋りょう補修委託料だが、予算組替を行った。なぜ一度減額をして再度予算提出しなかったのか。

答 J Rの敷地内での調査で新たに判明したことが多数あり、時間的余裕がないまま内容を変更せざるを得なかった。財政

実務としては予算流用の手法をとっているが、予算の組替で財政上の問題は無いと考えている。

問 せせらぎ公園木道改修工事は、起債してまでする必要はあるのか。

答 財源は交付金の積算対象となり、2千4百万円の後年度補助金への追加となる。3千万円は補正予算債という特別措置

の活用により有利な起債となっている。駐車場も近いうちに確保したい。

問 土地売却収入は、土地買戻しの決着がつくのか。

答 (有)二宮漁場の運営が思わしくないとしたが、交渉を続けていく。



〈せせらぎ公園〉  
木道の全面改修

反対討論として

「橋りょう事業は計画的に進めてきたはずなのに突如JRとの協議で1億円以上という大きな金額が示された。委託費と請負の意味合いも違い、流用という手法は適切でない。」

賛成討論として

「小学校改修工事、橋梁工事等安全確保を速やかに進める意味で賛成。」

11対1で可決。

## 特別会計は 全会一致で可決

### 国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ3千609万3千円を減額し、予算総額を36億5千

30万4千円とした。

問 退職被保険者給付費の減額理由は。

答 利用の多い年代が65歳以上へ移行した。

### 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ62万3千円を減額し、予算総額を6億7千791万1千円とした。

### 介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ4千139万9千円を減額し、予算総額を20億5千668万7千円とした。

問 居宅介護サービス計画費の減額理由は。

答 更新期間延伸のため、対象者が減った。利用者自体は増えている。

### 下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ5千5百万円を減額し、予算総額を8億3千72万8千円とした。主な理由は、事業費の交付金減額に伴い、汚水枝線の範囲見直しによるもの。

問 放射能汚染の汚泥処理は町負担となるのか。

答 東京電力から賠償金が出るため影響はない。

# 陳情は

どっとなった

二宮町議会の本会議場に国旗の掲揚を求めることについての陳情

## 11対1で採択

提出者は日本会議神奈川県湘南西支部。

陳情内容は、国旗「日の丸」が町民に親しめるよう、また、敬愛の心情を養うためにも、町議会に対し本会議場に国旗の掲揚を求めるもの。  
 「旗を掲げて敬うのは自由だが、旗を敬わない逆の自由もあり旗を掲げることによって偏った印象を与えかねない」「法律で定められている国旗に対し個人的な偏見は慎むべきであり、国旗、国歌を敬うのは日本国民として当然である。自由闊達な議論の場である議場に国旗掲揚を拒む理由はない」等の討論があった。

## 議案・陳情に対する賛否

	小笠原陶子	西山宗一	杉崎俊雄	浅賀一伸	神保順子	桑原英俊	脇正文	添田孝司	根岸ゆき子	近藤行宏	二見泰弘	三橋智子	池田宏	結果
町長提出議案名 (左は議案番号)														
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名 (左は陳情番号)														
1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議案番号1～28について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。  
 ※陳情については、○は採択、△は趣旨採択、●が不採択です。  
 ※池田 宏議長を除く12名の議員の賛否状況です。(議員定数14名のうち、1名欠員)



## 一般質問

**添田** 人口減少傾向にもかかわらず将来世代負担の町債残高が増え続けている。二宮町の町債戦略を問う。

**政策部長** 近年大規模投資的事業で町債を発行してきたが、できる限り地方交付税に算入され後年度に戻ってくるものを借りてきた。平成27年度が町債残高のピークと推計するが、その後の公債費負担比率の増加は避けられない。

**添田** 基準財政需要額算出で臨時財政対策債振替額が5億円を超え、多くが新たな起債となっている。地方交付税として戻ってこないリスクはないか。

**企画財政課長** コスト削減で起債額を抑えている。

**添田** 公共施設課による公共施設の管理一元化状況と公共施設更新、改修費用確保について問う。



公共施設のすべての情報は  
公共施設白書に集約される



**総務部長** 基本は施設情報の一元的な集約だ。各部署と連携し管理一元化に取り組み。減価償却費を積み立てる財源は生み出せていない。公共施設更新や再編を検討する。

**添田** 行政改革の目的はコスト削減だ。職員数削減の検討について問う。

**政策部長** 自治体への権限委譲で業務量は増加し、電算化等で合理化は進んでいるが大幅な業務量削減に至っていない。職員一人当たりの住民数は県下市町村で上位だ。

**添田** 経費削減で減価償却費を積み立て、施設更新費用を確保する仕組みが必要だ。

**健康福祉部長** まだ認知度が低いので、実態は把握していないが、今後情報提供し、周知を図りたい。

**三橋** 不育症は治療の効果が高いが、まだ国の助成制度はない。町で支援体制はとれないか。

**健康福祉部長** 町単独では財政的に厳しい。必要性は感じているので、特

### 広報で広く周知を図る

**三橋** 妊娠しても流産・死産を繰り返す「不育症」の患者が増えている。町の認識と対応はどうか。

医療費支援が必要では?!



定不妊治療の助成に不育症も加えるよう県に要望を行っている。

**三橋** 少子化対策の基本として力を入れてほしい。毎年インフルエンザが流行し、学級閉鎖が必ず発生する。受験を控える中学三年生を中心に、予防接種の補助を望む声があるが、町の見解はどうか。

**健康福祉部長** 小・中学生の4割が接種するとしても、600万円以上の試算となる。定期接種化の動きもないので、町単独での実施は難しい。他にHPV検査、子育て支援のホームページ対策など質問)

### 接種効果の検討が必要

三橋 智子議員

## 不妊症・不育症の認識を深め 少子化対策の充実を求める

添田 孝司議員

## 行財政運営 及び改革について問う





## 安心して学校生活が 送れるための防災体制を

神保 順子議員

**神保** 東日本大震災を教訓に、昨年、各学校の防災計画の見直しが行われた。

子ども達が登下校中に震災に遭遇した場合の各学校の指導方針を統一すべきと考える。避難に関する基準を設け、家庭と学校とがその情報を共有しておく必要があると考えているが、教育委員会の見解を伺う。

現在は現在、検討中。

**神保** 避難行動に関して、各家庭が親子間で確認をし合い、学校と家庭とがそれを共有しておくことが重要。地域に協力頂いているSOSプレートを震災時でも活用できるようにするなど、各学校に格差が生じないように早急に対応を図って頂きたい。また通学路には老朽化したトンネルや細く狭い道など危険な箇所が多数あるが、子ども達への周知や対策を現在のどの

ようにとっているのか。

**教育総務課長** 防災教育教材にある映像を見せるなどし、子ども達へ意識付けを図っている。  
**神保** いざという時の行動を日頃からの訓練で身につけておくことが大切である。平時の避難訓練でも取り組んで頂きたいと要望する。(他、学校の非常備蓄について、災害時要援護者支援対策について、防災会議への女性の登用などについて質問)



## 朝市支援で 商業の活性化を！

小笠原 陶子議員

**小笠原** 小売業は衰退の一途だ。大型店舗や、インターネットでの購入など、消費者の購入形態が変わった。しかし、朝市の魅力はその空間で人の交流が図られる。また、朝市はアンテナショップの役割を果たし、ふだん行かない店にも気軽に訪ねられる利点がある。行政が商工業支援をどこまでやるのか悩ましい。22年度から23年度で18.6万9千円を栄通り商店街再整備調査等委託料として実施し計画だけで終了

した。行政の支援はやる気のあるところへ、情報提供などの側面支援をすべきだ。現に県内の朝市の交流会などに職員が参加しているところは元気がいい。海の朝市はもっと拡充すべきだし、14年続けているラディアン朝市のノウハウをもっと共有すべきだ。また、梅沢海岸の後背地の整備を願う。

**都市経済部長** 22年度から海の朝市の名称で開催。当初参加者300人を目標のところ24年度は10

0人となっている。今の店舗数ではまだ魅力が足りない。参加店舗数を増やして活性化したいと思っている。海岸の大型ゴミ撤去は3年かけてやる。  
**小笠原** 商業者は売れない場所に出店はしない。もっと情報伝達していくべきだがどうか。  
**経済課長** 町の広報紙の他にタウンニュース、新聞などで話題提供をしているが、フェイスブックやツイッターの活用も検討する。



通学路になっている長い階段の途中で大地震が起きたら…



朝市は梅沢海岸の魅力のひとつ



# 町民の命と健康を守るため 医療施策の充実を

浅賀 一伸議員

**浅賀** 肺炎は日本人の死亡原因の4位で、その死亡者の9割が高齢者。そして一番多い病原菌が「肺炎球菌」だ。これはワクチン接種することで感染症の8割が予防でき、重症化を防げる。1回接種で5年間免疫が持続し、医療給付費の抑制にもつながる。しかし、全額自己負担。町で一刻も早く公費助成すべきだ。

**必要性は十分認識**

**健康福祉部長** 財源の確保が課題。国の機関でも必要性が指摘され「定期接種化の検討」も行われているので、その動向を注視したい。

**浅賀** 国の機関では、助成費以上の成果がある旨の具体的な発表を行っている。  
**保険予防課長** 財政が厳しい。優先順位もある。  
**浅賀** 優先順位は高いは

ず。希望する方も大勢いる。国への要望とともに財源ができたなら速やかな助成制度の確立を望む。

通院機会が減るのは理解している。しかし財政が厳しい。県から補助金はあるが対象は就学前まで。それ以外は町負担。市町村間の格差をなくし、統一的にするよう国に要望書を提出している。

**要望は国に提出している**

**健康福祉部長** 子育てしやすい町として必要だと思う。高学年になるほど



一刻も早く公費助成を！

## 第3分団詰所一階は商店街の事務所？



北口商店街にある築39

年の消防第3分団詰所が、ようやく建て替えられる。移転先のラディアンの裏の建設用地を視察中、「今の分団詰所二階は北口商店街が使用している。建て替え後も、二階は商店街が使用するのだろうか」との疑問の声。

予算審査特別委員会で確認したところ、「二階は消防の所管で、会議・打ち合わせに使い、特定の団体の事務所ではない。地域の方に利用していただくことも考えている。」とのこと。

歴史のなかで、公共施設の利用も様々な、いきさつが出てくる。おりしも町内の公共施設は、総合的に検証を始めたところだ。今後の展開に注目したい。

## 菜の花のお披露目会

新規の「菜の花交流会実行委員会」って何？ 答弁は「吾妻山公園を広くPRするための地域間交流を持つ。市町村長や県の職員と意見交換をして、様々な課題を抽出したい」今や吾妻山の菜の花はわが町の一大イベント。

観光協会やボランティアで様々な工夫をして盛り上げていくが、行政としても交流会を持ち、今後の拡大につなげていきたいところのようだ。

首長たちが集まるとなると、マスコミにも報道され、違った角度からの注目もあるだろう。くれぐれもお披露目の宴会だけに終わらせないよう工夫をお願いしたい。

## 災害時の危機管理

2年前の議会中に発生した東日本大震災。東北を中心但未だ復興の最中だが、当時は「災害時に、

議会は、議員は何をしてくれるの」と、自他共に問ひかけの連続だった。その思いは議会基本条例に反映させた。全議員

## 駅南口の楠木なくなる

が災害時、地元地区本部と連携し、防災活動に当たる。町の安否情報確認システムに登録し、情報交換ができるよう体制を整える。いざという時にしつかり活動できるように、日頃の訓練を充実させたい。

ガラスのうさぎ像を守るように立っている楠木が、25年度に抜倒されることになった。町の考えは「根元から20cmの位置での腐食率が約80%と診断されたため、残しておくことは非常に危険。人命第一と考え、抜倒することを決断した」とのこと。

この楠木は、日露戦争戦勝記念に、国から小学校に配られたものの一本で、樹齢1000年を越すものだ。残念に思う町民は多いが、事故を未然に防ぐ為の対応はやむを得ない。

予算審査では「抜倒せざるを得ないなら、その孫木を植え、歴史を伝えることも必要では」との意見も。一番つらいのはガラスのうさぎを抱える少女かもしれない。

# もっと知りたい 蘇峰堂の魅力

## その2

近年は、吾妻山の菜の花の見ごろ時期と庭の梅の咲く頃が一緒であることから、観光名所として賑わっています。

しかし、財団の人手不足と財政的理由から、一昨年までは手入れが行き届かず心配の声があがっていました。

蘇峰堂にある記念館の白い建物の玄関前を通り抜けると広い庭園が現れます。敷地面積は約千坪。ここは徳富蘇峰の晩年を秘書として勤めた塩崎彦一氏が、熱海に通う東海道線の車窓から梅林のあるこの地を気に入り、住まいにと求めました。梅の木の素晴らしさは昭和初期からのものです。



本年3月活動の様子

二宮町は観光名所として紹介はしても、民間の施設であるため予算をつけることもできませんでした。そこで樹木医の長谷川芳男氏に相談しましたところ、氏は快諾され、神奈川県下の樹木医仲間（NPO法人樹木医協力量者会・安部理事長）にも協力を募って下さいました。記念館は一般から、ボランティアを募集し、



くまモンを紹介する学芸員の塩崎氏

の「くまモン」が来園し、大勢の子どもの声援に沸きました。併せて裏千家さつき会の協力で野点も開催されました。これからは竹垣の整備のため、竹林を整備するボランティア会と協力し進めていきます。

平成12年6月から毎月1回整備を初めました。夏は生い茂る雑草を抜き、秋は樹木を剪定し、雑然としていた奥の庭にはボタンの苗を植え、冬は真竹を利用した柵で園路を整備し、樹勢が衰えてきた木々に手作りの堆肥を施しました。凍てつく冬を超えて見事に復活した庭園は、昔の姿のままに美しくよみがえりつつあります。

その梅の香る本年2月10日には、徳富蘇峰の生誕百五十年を記念して、熊本出身であることから、ゆるキャラで大人気

その梅の香る本年2月10日には、徳富蘇峰の生誕百五十年を記念して、熊本出身であることから、ゆるキャラで大人気



庭園でくつろぐ蘇峰氏

大磯町から参加のボランティアの女性は、「楽しくお手伝いしています」と笑顔で話していました。

ボランティアは現在も募集中です。

5月には花菖蒲と牡丹が入り口で入園料1000円を集金箱に入れてご鑑賞ください。詳細は記念館ホームページ参照を。



ライトアップを支える  
二宮建設工業会  
3月23日(土)

## カメララボ 残したい



## 編集室だより

議会だよりという紙面媒体のみで、議会の活動を伝えることは難しいと感じていました。

そこで5月から議会報告会を行うことにしました。全議員で地域に向き、直接報告をし、参加者からの意見も伺います。この二媒体で更に町民との距離を縮め、代弁者たる活動に努めます。(協)

議長	根岸ゆき子
副委員長	脇 正文
委員	杉崎 俊雄
委員	桑原 英俊
委員	近藤 行宏
委員	三橋 智子

## NEW 議員全員による 議会報告会

初開催!

—開催場所・日時—

- ◎百合が丘児童館  
5/11(土)14時～16時
  - ◎ラディアンミーティングルーム  
5/12(日)14時～16時
  - ◎山西防災コミュニティセンター  
5/16(木)19時～21時
- 都合のよい場所を選んでお越しください。  
問合せ先：議会事務局